

2025年3月 22 日

ほしざらサロン 2025 年2月議事録

文責:石橋 愛理

日 時: 2025 年 2 月 22 日(土) 18:00~21:10

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 阿部, *篠原, 高岡, 高木, 永井, 広滝, *町田

(50音順、敬称略)

職 員: 小野田, 角田, *阪本, 石橋

計 11 名

* リモート(Zoom) 参加者

I. 3月 22 日(土) ほしざらウォッチングについて

●観望対象天体: 木星、すばる、冬の星空(恒星や二重星)

19:30~20:00 プラネタリウムでの解説

20:00~21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※雨天時は屋外での観望を中止し、プラネタリウム解説のみ実施する。

次回の観望会の使用予定機材の確認などを行い、以下のように決定した。

<使用予定機材>

【木 星】 ビクセン8cm屈折望遠鏡 2 台

(対空双眼鏡の10ミリのアイピース使用予定。倍率91倍)

【すばる】 タカハシ10cm反射望遠鏡 2 台

(アイピース30ミリ。レデューサーを使う。倍率16倍)

【恒星・二重星】 ビクセン 8cm対空双眼鏡 2台

(20mmのアイピースで倍率24倍)

角 田: すばるを観察する際、レデューサー込みで最低倍率が16倍であり、これは対空双眼鏡の最低倍率と同じ。タカハシ望遠鏡は、集光力が高く、対空双眼鏡よりも1.5倍ほど明るく見えそうだ。タカハシ望遠鏡のレデューサーは、2つある。

篠 原: 視野角はどれくらいか。

角 田: おおよそ3度くらいか。タカハシの方が、対空双眼鏡よりも見かけの視野も広いようだ。

小野田: 木星をタカハシ望遠鏡で見なくていいのか。

角 田: 木星と太陽の離角が近く、コントラストが良くない可能性がある。また、観望開始時刻の20時の段階で既に真西に木星が位置している状態で、観察条件があまり良くないため、今回はビクセンでもよいのではと思う。来場者には、木星の縞を見もらうことを目標にしたい。

高 木: 木星は、ビクセン望遠鏡での観望で十分だと思う。ただ、タカハシ望遠鏡にレデューサーを入れるのが難しそうだ。実際に入れたことがある人がおそらく2人しかいない。対空双眼鏡で観察する天

体は、恒星や二重星の方が適していると思う。コルカロリやふたご座の星を見てもらうか。

角 田：対空双眼鏡は自動追尾機能がないため、視野が広めの20ミリのアイピースを使用するか。10ミリのアイピースだと動きが大きくなり、都度合わせるのが大変そうだ。カストル、コルカロリ、ミザールアルコル、もしくは1等星などを見てもらえたら。

角 田：3月下旬ではあるが、夜はまだ寒い時期。当日の気温が低そうならば、スタッフにカイロを配布するなどの対応を検討したい。

2. 2026年3月3日(火)皆既月食 特別観望会の実施について

表題の通り、来年の3月3日に皆既月食が起こる。平日だが、特別観望会を実施したい。

当日観望会の時間についての提案し、決定した。

2026年3月3日(火)皆既月食

食開始 18:49、皆既開始 20:04、皆既終了 21:03、食終了 22:17

角 田：月食を最初から最後まで見るとなれば、観察時間が長時間に及ぶ。3月上旬の夜はまだ気温も低く、月食の時間中、屋外に滞在するのは来場者もスタッフにとっても厳しい可能性がある。そのため、観望会の開催時間は18:45～20:15としたい。

また、これはスタンプカード対象回ではなく特別回として実施し、今年度配布するスタンプカードに記載をするなどして周知をはかる。

⇒ 2026年の3月3日(火) 18:45～20:15で決定。

3. 今後の活動について

3月8日(土) 小学生向け講座「星の一生」

3月22日(土) ほしづらウォッチング(観望会)「木星・すばる・冬の星空」

3月29日(土) ほしづらサロン

4月 5日(土) 小学生向け講座「オリエンテーション」

4月19日(土) ミニ合宿・ほしづらサロン

4月26日(土) ほしづらウォッチング(観望会)「春の星空」

次回のサロンは2025年3月 29 日(土)です。